

ペット館ニュース12月号

アクアニュース

今年最後の12月に入り、残り一ヶ月となりました。毎年思うのですがペット館ニュースなんだかんでよく続いているなぁと…創刊号から実に8年、毎月更新しております。ひとえにペット館に足を運んでいただいているお客様をはじめ、記事を書いてくれるスタッフのおかげでございます。今後も楽しい情報や為になる記事を掲載できるよう努めてまいります。今年一年誠にありがとうございました。来年もよろしくお祈りします。

鳩宿 今月はこれまた今が旬「水泡眼」のご紹介です。見た目はこれも金魚なの？と、よく言われますがれっきとした金魚なのです。当才の水泡眼はそこまで水泡が発達していないのですが2才を超えてくるとみるみるうちにタユンタユンの水泡がオメメの下に大きくなっていきます。そうなったらキモカワこえて只々加(・▽・)イ!!!になっちゃいます！ただ、水泡は破けやすいので混泳や突起物の多いレイアウトは避けた方が良いでしょう。今年最後にあなたも魅惑の金魚「水泡眼」にチャレンジしてみませんか？



坂上 今月は『60cm水槽のすすめ』と題してお届けします。私、坂上が熱帯魚を始めた頃は60cm水槽がスタート水槽でその後、本数を増やすか90cmに進むかが一般的でした。しかし、最近は小型水槽がブームで60cm水槽は敬遠されがちです。もちろん小型水槽にも良いところはあるのですが、初心者の方には特に60cm水槽をオススメします！！一番の理由は水量が多いので水質が安定しやすい！ということです。水質が安定すると→魚が死なない→飼育を楽しめる！につながります。よく初めてなので小さい水槽からおっしゃるお客様がいらっしゃるのですが、小型水槽だと、水量が少なく水質が安定せず飼育の難易度が上がってしまいます。また、数を増やしたくなくても小型水槽だと難しいですが、60cm水槽だと50~60匹(ネオンテトラサイズで)くらいは余裕で飼育できちゃいます。なので！私、坂上は60cm水槽推し！です。

谷口

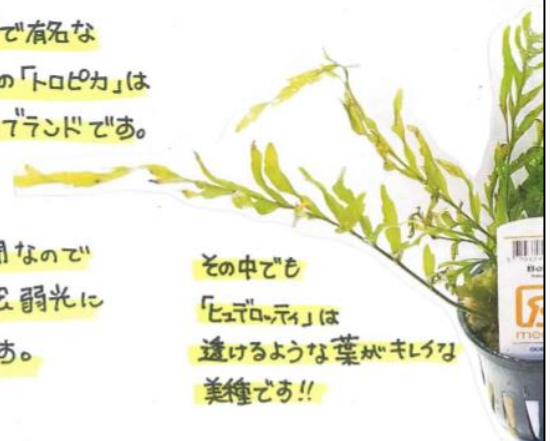
2018年12月にご紹介するのは「トロピカ産 ヴァルビティス・ヒュトロペイ」です！



←このロゴで有名な水草フォームの「トロピカ」は、デンマークのブランドです。

ヴァルビティスはシダの仲間なのでミクロリウム同様、寒さと弱光に耐えやすい丈夫な水草です。

その中でも「ヒュトロペイ」は透けるような葉が美しい美種です！！



河野 今月よりいよいよ冬の日淡マス科シーズン始まりです。輸送時の水温管理が難しいため今からの時期が数、種類ともに多く流通します。手始めに「ヤマメ」「イワナ」「レインボートラウト」の3種類が入荷しました。夏場は水槽用クーラーによる水温管理が必須となりますが、ろ過に関しましては水槽サイズにあった装置が準備できれば十分飼育可能です。水温管理が難しいジャンルではありますが、マス科特有の美しい模様は熱帯魚には無い魅力があります。ぜひ興味を持たれた方は挑戦されてみてください。

